任天堂 ファミリー コンピュータ™

TKS-G1

取扱説明書

ファミリーシンセ

いきなりミュージシャン

TOKYO SHOSEKI CO.,LTD.

目 次

●使用上の注意

★カセットの扱いかた

① 極端な温度条件下での使用や保管および強いショックをさけてください。

② 絶対に分解しないでください。

③ さしこみ口を手でさわったり，水にぬらしたり，よごしたりしないでください。

④ シンナー・ベンジン・アルコールなどの揮発油でふかないでください。

★いきなりミュージシャンを楽しむ時

① 目の健康のため，テレビ画面からできるだけ離れましょう。

② 長時間プレイする時は，健康のため約1時間ごとに10〜20分の小休止をしてください。

キミもいきなりミュージシャン！

ファミリーシンセいきなりミュージシャンは全く新しいタイプのファミコンソフト，キミのファミコンが夢の楽器に変身します!!

楽器が弾けなくても，楽譜が読めなくても，そんなことはおかまいなし。コントローラーの操作だけで誰にでも思いのままのメロディーが弾けます。おまけに世界各地にちなんだゴキゲンなサウンドをバックに，絶対オンチにならずに名演奏がいきなりできるのです。

メロディーの音色やエフェクトは自由に選べ，気に入った演奏を録音・再生することもできるなど，豊富な機能がキミの感性を刺激します！

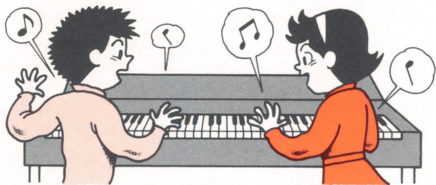
友だちや家族とのかけ合い演奏でメロディーでコミュニケーションしたり，コンピュータとサウンドで勝負することだってできます。

だれでもできる！いきなりできる！

音が楽しい！——だからONGAKU!!

キミもいきなりミュージシャン！キミの感性をフルに生かしてすばらしい音楽の世界を体験してください。

友だちやコンピュータとサウンドで勝負！

一人で演奏するのもいいけれど，DUETを選び，おたがいに自分の好きな音色やエフェクトをセットして，かけ合いで演奏するのも，とても楽しいね。

相手の演奏に合わせて，自分の演奏を続けるんだ。一人で演奏するのとはちがう，おもしろい曲ができそうだよ。VS COMP.を選んで，コンピュータとかけ合い演奏するのも楽しいぞ。

楽譜を見ながらピアノのレッスン！

PIANO MODEを選ぶと，鍵盤はピアノに早変わり。だから，いつも口ずさんでいる曲がかんたんに弾けるんだ。また，新しい曲を楽譜を見ながらピアノ感覚で弾いてみるのもいいね。

パーティーの主役だ！

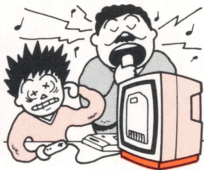
家族そろってのバースデーパーティーや，友だちとのクリスマスパーティー。こんな時にも，いきなりミュージシャンは欠かせないぞ。

たとえば，バースデーパーティー。ケーキを前にして，みんなで〝ハッピーバースデー〟の歌を歌うよね。この曲の伴奏をピアノモードで弾いちゃうんだ。パーティーはもりあがるし，最高のプレゼントになると思うよ。

また，クリスマスパーティーで，みんなが知っているクリスマスソングを，ピアノモードで伴奏しながら歌うなんていうのも楽しいね。

わが家はカラオケスタジオに早変わり！

IIコントローラーにマイクがついているのをキミは知っているかな？　マイクに向かってしゃべった声が，テレビから聞こえてくるんだ。

このマイクを使って，演奏に合わせてカラオケ大会，なんてどう？　リズムは，何といっても日本の〝ENKA〟。お父さんの自まんのノドが，わが家でも聞けそうだね。

いきなりミュージシャンの構成

タイトル画面

（スタート）

MODEとプレイヤーを選択します。

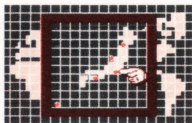
〈選択のしかた〉

① ✚の上下で，☜を選びたい項目の所へ動かします。 ② （スタート）をおします。

＊シンセ画面，マップ画面からタイトル画面にもどる時は，リセットボタンをおしてください。

⇨PLAY MODEの説明……9ページ
PIANO MODEの説明……21ページ
プレイヤーの説明……………9ページ

JAPANを選

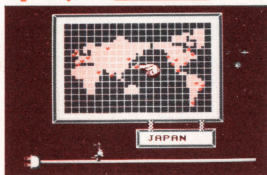
日本のリズムは，拡大された日本地図から選択します。

（セレクト）

シンセ画面

メロディーを演奏したり，各スイッチをセッティングします。

⇨シンセ画面の機能図……7ページ

マップスイッチ

(PIANO MODEではマップ画面に行きません。)

マップ画面

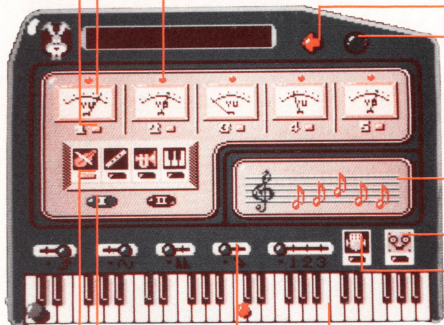
世界のマップから，伴奏のリズムを選択します。

⇨ワールドリズムマップ……15ページ
リズムの選びかた…………17ページ

シンセ画面の機能

VUメーター（⇨11ページ2）
メロディーと伴奏のリズムの各パートの音量を示します。

音量スイッチ
各パートの音をON/OFFします。

ピーク・インジケーター

音色スイッチ
（⇨12ページ3）
メロディーを演奏する音色を選びます。

鍵盤

プレイヤースイッチ
（⇨12ページ4）

マップスイッチ（⇨11ページ❶）
画面をマップ画面に切りかえます。

グラフィックスイッチ（⇨14ページ❽）
グラフィックを3段階に切りかえます。

五線譜
メロディーの演奏に合わせて，音符やウサギを表示します。

プレイバックスイッチ（⇨14ページ❼）
録音した曲を再生します。

レコーディングスイッチ（⇨13ページ❻）
自分が演奏した曲を録音します。

エフェクトスイッチ（⇨13ページ❺）
Ⓑボタンをおすと鳴る5種類のエフェクトを設定します。
（左から，チョーキング，ビブラート，トレモロ，ポルタメント，オートフレーズ）

PLAY MODE

世界各地のリズムの伴奏に合わせて，自由にメロディーを演奏するモードです。

● **演奏の準備**

① タイトル画面のメニューでPLAY MODEを選びます。

SOLO

Ⅰコントローラーを使って１人で演奏します。

DUET

Ⅰ・Ⅱコントローラーの両方を使って，２人でかけ合い演奏をします。

＊２つのコントローラーのうち，後からⒶかⒷをおした方の音が鳴ります。

VS COMP.

Ⅰコントローラーを使い，コンピュータとのかけ合い演奏をします。

＊Ⅰコントローラーのⓐかⓑをおさないと，コンピュータの自動演奏の音が鳴ります。

② 画面がシンセ画面に切りかわります。(セレクト)をおすと☜が消え，鍵盤上の●が●に変わって，演奏可能になります。

▶プレイヤーとコントローラーの関係

プレイヤー	赤い○	青い○
SOLO	Ⅰ	
DUET	Ⅰ	Ⅱ
VS COMP.	Ⅰ	コンピュータ

●演奏のしかた

① (スタート)をおすと，2小節メトロノームのカウントが鳴った後で，伴奏が始まります。

② 伴奏に合わせて，コントローラーを操作して鍵盤上の●を動かし，自分の好きなメロディーを演奏します。

音程の上下 (●の移動)

- 1音ずつ上下………✚の上下
- 連続して上下………✚の左右

✚の上を1回おすと音程が1つ上がり，✚の下を1回おすと1つ下がります。✚の左右では，おしている間，音程が大きく上下します。

音を鳴らす

- ノーマル音…………Ⓐボタン
- エフェクト音………Ⓑボタン

⇨音色のセッティング……12ページ3参照
エフェクトのセッティング……13ページ5参照

演奏をやめたい時は，(スタート)をもう一度おすと，伴奏が終わります。

注意

タイトル画面で，何も操作しないでいると，デモンストレーション画面が始まります。Ⓐ，Ⓑボタンをおすとタイトル画面にもどります。

シンセスイッチの機能

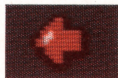
シンセ画面の各スイッチは，Ⅰコントローラーで自由にセッティングすることができます。

●セッティングのしかた

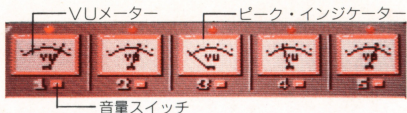
① （セレクト）をおして，☜を表示します。
② ✚で☜をセッティングしたいスイッチの所へ動かします。
③ Ⓐボタンをおして，セッティングします。
④ セッティングが終わったら，（セレクト）で☜を消して，演奏状態にもどします。

●各スイッチの説明

1 マップスイッチ

シンセ画面からマップ画面への切りかえボタンです。伴奏のリズムを変えたい時に使います。

2 VUメーター

5つのVUメーターは，自分の演奏する音（メロディ）と伴奏のリズムの各パートの音の出力状態を表しています。

メーター1	メロディ
メーター2	リズム（ギター）
メーター3	リズム（ベース）
メーター4	リズム（パーカッション1）
メーター5	リズム（パーカッション2）

VUメーターの針は，音量がONの時は右に，OFFの時は左にかたむきます。

各パートの音は，それぞれのVUメーターの音量スイッチでON／OFFができます。

(注意) メーター1の音量スイッチがOFFの状態では，メロディの音は鳴りません。

3音色スイッチ

演奏できる音色（楽器）は，4種類です。

バイオリン　フルート　トランペット　ピアノ

最初は，各リズムにふさわしい音色がセッティングされています。DUET，VS COMP.では，プレイヤーごとに音色をセッティングすることができます。（⇨4プレイヤースイッチ参照）

4プレイヤースイッチ

DUET，VS COMP.では，プレイヤーごとに音色（楽器）とエフェクトをセッティングすることができます。その場合，あらかじめセッティングしようとするプレイヤーの数字ランプをつけてから行ないます。

5エフェクトスイッチ

エフェクトは，Ⓑボタンをおすと鳴る音で，5種類あります。

チョーキング　ビブラート　トレモロ　ポルタメント　オートフレーズ

チョーキング……	音がうしろ上がりに鳴る。
ビブラート………	音程の高低の変化で，音がふるえる。
トレモロ…………	音量の大小の変化で，音がふるえる。
ポルタメント……	音がうしろ下がりに鳴る。
オートフレーズ…	●の位置を中心に，自動的にフレーズを作る。

スイッチは，左側・の状態がOFFで，右側がONです。オートフレーズは，1・2・3の3種類の中から選べるようになっています。

DUET，VS COMP.では，プレイヤーごとにエフェクトをセッティングすることができます。(⇨4プレイヤースイッチ参照)

6レコーディングスイッチ

自分が演奏した曲を録音することができます。

① ☜をレコーディングスイッチに移動して，Ⓐボタンをおします。

② レコーディングスイッチが緑色に点滅して，録音開始。

③　演奏が終わったら，(スタート)をおすと，録音が終了します。

＊長時間録音を続けると，メモリーがいっぱいになり，自動的に録音が終了します。

＊１回録音した曲は，再び録音したり，マップ画面に行くと消えてしまいます。

7 プレイバックスイッチ

録音した曲を，再生します。

①　☜をプレイバックスイッチに移動して，Ⓐボタンをおします。

②　プレイバックスイッチが緑色に点滅して，録音された曲が，そのまま再生されます。

＊再生を途中で止める時は，(スタート)をおします。

8 グラフィックスイッチ

演奏中，五線譜上に音符やウサギを表示したり，鍵盤から泡を出すことができます。

Ⓐボタンをおすごとに，グラフィックスイッチは３段階に切りかわります。

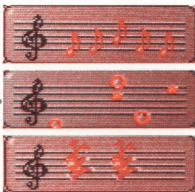
●は点滅しない。

Ⓐボタンをおす

●はゆっくり点滅する。

Ⓐボタンをおす

●は早く点滅する。

Ⓐボタンをおす

ワールドリス
ロック
①ROCK（イギリス）
スコットランド
②SCOTLND
（イギリス）
スペイン
③SPAIN
（スペイン）
カノン
④KANON
（ヨーロッパ）
テクノ
⑤TECHNO
（ドイツ）
アラビア
⑥ARABIA
（アラブ地方）
ロシア
⑦RUSSIA（ソビエト）
インディア
⑧INDIA（インド）
チャイナ
⑨CHINA（中国）
オキナワ
⑩OKINAWA
マツリ
⑪MATSURI
オケサ
⑫OKESA
ショーナン
⑬SHONAN
エンカ
⑭ENKA
（⑩～⑭日本）

ポップス
⑮POPS

カントリー　アンド　ウェスタン
⑯　C　&　W

ブルース
⑰BLUES
（⑮〜⑰アメリカ）

マンボ
⑱MAMBO
（キューバ）

リズム　アンド　ブルース
⑲　R　&　B

ブギウギ
⑳BOOGIE

ジャズ
㉑JAZZ
（⑲〜㉑アメリカ）

タンゴ
㉒TANGO
（アルゼンチン）

ボサノバ
㉓BOSSA

リオ
㉔RIO

サンバ
㉕SAMBA
（㉓〜㉕ブラジル）

リズムを選ぼう

●マップ画面

伴奏のリズムの選択は，シンセ画面右上の⇦でマップ画面に切りかえて行ないます。

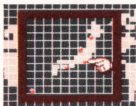
① ⬅に☜を移動し，Ⓐボタンをおします。

② ⬅が点滅して，画面がマップ画面に切りかわります。

●リズムの選択

① マップ画面上の☜を✚の左右で動かし，マップ上の●を選び，Ⓐボタンをおします。

② ●が点滅して，その場所にセットされたリズムが演奏されます。リズム名は，マップの右下に表示されます。

＊日本（JAPAN）を選ぶと，日本が拡大されるので，その中から好きなリズムを選びます。日本から世界のマップにもどるには，（セレクト）をおします。

③ リズムを選択したら，（セレクト）をおすと，マップ画面からシンセ画面に戻ります。

いきなり名人！ハイテク道場

いきなりうまくプレイできちゃうテクニックを教えちゃおう！

●テンポをつかめ！

① 伴奏が始まる前に2小節，メトロノームのカウントが入る。それをよ〜く聞いて伴奏のテンポをおぼえてしまおう。

② 伴奏のテンポは，リズムによってそれぞれちがう。テンポのおそいリズムであまり激しく音を動かすと×だ。逆にテンポの速いリズムでは，✚の左右をめいっぱい使ってグチャグチャ弾いてもOKだ。

実践講座

♬入門　✚の上下だけでバッチリプレイ！

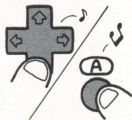
① 最初はとにかくⒶはおしっぱなしでいいから✚を上におすんだ。伴奏のテンポをよ〜くききながら，上・上・上……。音が高くなってきたら下・下・下……。それらしくきこえるだろ？

② こんどは，上と下をうまくまぜながら弾いてみよう。リズムをとりながら，✚をおす間隔もいろいろ変えるともっといいぞ。同じパターンをくりかえすのも使える手だ。

♬初級　右手・左手シンクロプレイ／

① 今までは音が鳴りっぱなしだったね。今度はリズムにうまく合わせて音を切ってみよう。リズムの区切りに合わせてⒶをはなし，またすぐⒶをおす。こうすると，歌の息つぎ（ブレス）みたいな感じがでるんだ。

② リズムをよくきいてⒶをおしなおす回数をふやしてみよう。ときどき休符を入れるわけだ。

③ 「入門」でマスターした✚の操作と合体／右手でリズムをとって，Ⓐをはなしたスキに✚を動かすのがコツだよ。右手と左手で仲よくシンクロプレイだ／これができれば一人前だゾ。

♬中級　必殺／音とばし

① いよいよ✚の左右をまぜた必殺ワザだ。となりの音じゃない音に移りたいときは，Ⓐをはなしたスキに✚の左右でジャンプ。

② 鍵盤上の●がとまったらすかさずⒶをおす。Ⓐをおすのが早いと，「ピロッ」とおまけの音がついちゃうよ。一拍休むぐらいの感じでやるといい。

③ ✚をおす長さをうまく加減して，思い通りの所へ音をとばせるように練習しよう。

♬上級　エフェクトで泣かせるぜ／

① 中級までで基本テクニックは身についたはずだ。残るはエフェクト。メロディーの演奏がノッてきたら,「ここぞ／」というところでⒷをおす。

② 一番使いやすいのが「チョーキングビブラート」だ。⤴と〜を両方ともONにすれば，演歌のコブシも，泣かせるソロプレイもこわいものなし／

③ ただし，あまりむやみやたらにⒷをおすと下品になっちゃうぞ。思わずⒷに指が…次の瞬間，きいてる友達の拍手がワーッ／てな具合になれば完ペキだ／「能あるミュージシャンはツメをかくす／」

④ テンポの速いリズムではオートフレーズが効果的だ。何くわぬ顔でⒷをおせば，超絶テクニックの早弾きができてしまうのだ。

♬名人への道

ホントの名人は伴奏がなくても聴く人を感動させる演奏ができるものだ。各リズムにそれぞれセットされている音階をうまく生かすと，みんなが知っている名曲(?)が簡単に演奏できてしまうぞ。伴奏を止めて挑戦してみよう。

（例……CHINAで「おうま」「こいのぼり」etc.）

PIANO MODE

伴奏なしでメロディーだけを演奏するモードです。画面はシンセ画面（7ページ）と同じです。PLAY MODEと違って,「ド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ・ド」のすべての音が弾けます。自分の知っている曲を弾いたり，楽譜を見ながら新しい曲を弾いたり，ピアノ感覚で楽しめます。

プレイヤーの種類

① SOLO

Iコントローラーだけを使い，鍵盤上の赤い○を動かして，１人で演奏します。

② DUET

I・IIコントローラーの両方を使い，２人でかけ合い演奏を楽しむことができます。

- Iコントローラー………赤い●
- IIコントローラー………青い●

演奏のしかた

① シンセ画面上で，音色やエフェクト，グラフィックなどを設定します。(⇨11ページ)

② （セレクト）で☜を消すと演奏ができます。

●音程の上下（●の移動）

- １音ずつ上下………✚の上下
- 連続して上下………✚の左右

●音を鳴らす

- ノーマル音…………Ⓐボタン
- エフェクト音………Ⓑボタン

●万一，製造上の原因による不良がありましたら，お取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
●製品の仕様は，改良のため，予告なく変更することがあります。

パッケージイラスト／松下進
本文イラスト／ゴンドウ・テルシゲ